

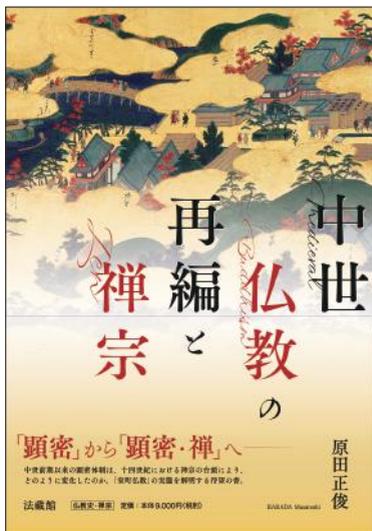
中世仏教の再編と禅宗

はらだ まさとし

原田正俊著

▼A5判・上製カバー・343頁 定価 九、九〇〇円

2023年5月刊行



十四世紀の禅宗の台頭は、法会・伽藍の変化、尼寺の増加など、京都の景観をも一変させた。中世仏教の体制が再編されるなかで、禅宗がいかなる役割を果たしたのかを解明する待望の書。

【目次】

序章

I 女人と禅宗

- 第一章 女人と禅宗
- 第二章 渡来僧・五山僧と女人の求法

II 五山禅宗の成立と展開

- 第三章 中世仏教再編期としての十四世紀
- 第四章 仏教と太平記
- 第五章 春屋妙葩と夢窓派の展開
- 第六章 中世五山僧の進退・成敗・蜂起
- 第七章 五山禅僧の「文官」的性格

III 禅宗の仏事法会と社会

- 第八章 中世の禅宗と葬送儀礼
- 第九章 五山禅林の仏事法会と中世社会
―鎮魂・施餓鬼・祈禱を中心に―

IV 禅林伽藍と都市景観

- 第十章 中世の嵯峨と天龍寺
- 第十一章 京都五山禅林の景観と機能

結論

第十二章 室町仏教と芸能・談義

初出一覧

あとがき

索引

◆著者略歴

原田正俊（はらだ まさとし）

一九五九年生まれ。関西大学文学部教授。専門は日本中世史・仏教史。主な著書・編著に、『日本中世の禅宗と社会』（吉川弘文館、一九九八年）、『天龍寺文書の研究』（編著、思文閣出版、二〇一一年）、『日本古代中世の仏教と東アジア』（編著、関西大学出版部、二〇一四年）、『仏教がつなぐアジア―王権・信仰・美術―』（共編著、勉誠出版、二〇一四年）、『宗教と儀礼の東アジア―交錯する儒教・仏教・道教―』（編著、勉誠出版、二〇一七年）などがある。

注文書	様冊
(書店印)	ご担当
原田正俊著	法藏館
中世仏教の再編と禅宗	定価 九、九〇〇円
ISBN: 978-4-8318-6275-4 C3021	住所
お名前	お電話

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本史・仏教史